



# 農系ポッドキャスト おみそしるラジオ

インターネットを通じて

音声や動画を配信する「ポッドキャスト」。

全国の農業従事者が「農系ポッドキャスト」番組を次々に立ち上げている今、四日市在住の男性3人が2年前から始めた

「おみそしるラジオ」が話題を集めています。

## 自信や勇気を リスナーに届けたい

「農系ポッドキャスト」とは、農業に関わっている人が日々の仕事で得た気づきや楽しかった出来事、抱えている悩みや課題などを配信する番組で、近年全国的な広がりを見せていました。中でも人気を博しているのが四日市在住の男性3人による「おみそしるラジオ」です。運営者は、キュウリ生産者の阿部俊樹さん

(しなやかファーム代表)、ナルホ農園代表(会社勤めをしながら堀田さんの農園でコーヒーستانドを営む住田良平さんの3人です)

四日市出身で実家が兼業農家の阿部さんは、高校を卒業すると同時に名古屋へ。美容関係の会社でマネジメント職に就いていました。仕事に没頭するうち、「美の追求には、食が不可欠ではないか」と思うようになり、地元に戻つて

阿部さんと堀田さんは、同じ農家として農業に対する思いや畠の様子、収穫を祝うイベント「しなやかフェス」の情報などをSNSで積極的に発信。その取り組みが、

ス生産者の堀田健一さん(マルホ農園代表)、会社勤めをしながら堀田さんの農園でコーヒーستانドを営む住田良平さんの3人です)

（しなやかファーム代表)、ナルホ農園代表(会社勤めをしながら堀田さんの農園でコーヒーستانドを営む住田良平さんの3人です)

おみそしるラジオ  
<https://omisoshiru.world/pod/>  
[twitter] @omisoshiruradio

※サイト内「配信エピソード」をクリックすれば、過去の番組が視聴可能。また、Spotify、Apple Podcast、Google Podcastほか、各ポッドキャストアプリにて無料配信中

**profile**

**右 阿部俊樹さん**  
1981年生まれ、三重県四日市出身。サラリーマンから農家に転身し、2017年7月に「しなやかファーム」を立ち上げる。現在はキュウリを中心に栽培。「生産者と消費者の壁を壊す」をテーマに掲げ、農業以外にも収穫祭「しなやかフェス」も開催。その個性的な活動内容は注目を集め、「マイナビ農業アワード2019」にて優秀賞を受賞。番組でのパーソナリティネームは「しなやん」

**中 住田良平さん**  
1987年生まれ、福岡県糸島市出身。鹿児島県内の大学を卒業して、四日市の住宅リフォーム会社に入社。リフォームアドバイザーとして働きながら、市内の公園でコーヒーを振る舞う生活を送る。現在は週末になると、マルホ農園で「喫茶すみへい」というコーヒースタンドを朝定期で運営。夢は自身の喫茶店を開業すること。番組でのパーソナリティネームは「すみへい」

**左 堀田健一さん**  
1986年生まれ、三重県四日市出身。製造業と食品配達業を経て、26歳の時に就農。祖父の畑を継いで育てているナスは「トロリンチョナス」の名称で地元のスーパーを中心で流通。また、絵画が好きなことから自らを農画家と名乗る。「おみそしるラジオ」のアイコン画は、自身が手がけたもの。「マルホ農園」代表。番組でのパーソナリティネームは「ナスケン」



1 トロリンチョナス



2 ブルームキュウリ



3 ブルームキュウリ



4 カップを覆うスリーブには、住田さんの似顔絵が描かれています

1 「しなやかフェス」の模様。SNSでの開催情報を見た人が全国から駆けつけました。2 「喫茶すみへい」は朝7時から正午までの営業。住田さんは一杯ずつ丁寧にドリップします。コーヒーの価格は、購入者が決めるスタイルです。3 4 阿部さんが育てる「ブルームキュウリ」は、国内でもわずかしか流通されていない珍しい品種です

熱い志を持った3人に地元の人も協力を惜しません。鈴鹿市に本社を置き、四日市でも6店舗を展開するスーパー「マーケットスーパーサンシ」それが挑戦を続けています。

番組は今年で3年目。「よいよ成熟期。回数を重ねて方向性もしつかり見えてきた」と阿部さん。ゆくゆくは四日市の人々が当たり前に聞くポッドキャストを目指すと、先を見据えます。